

ごあいさつ

伊丹市子育て支援センター長 伊丹市育児ファミリー・サポート・センター長 谷 泰史

皆様こんにちは。「育児ファミリーサポート便り第57号」をご覧いただきありがとうございます。私は、今年4月1日付人事異動におきまして、伊丹市子育て支援センター長兼育児ファミリー・サポート・センター長に着任いたしました谷泰史でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度ファミリー・サポート・センターでは、育児の援助を受けたい「依頼会員」と、育児を援助したい「協力会員」、その両方の「両方会員」合わせて約 2,300 人の会員様により、1,900 件余りの活動を支援することができました。このことは、子育て中の家庭と援助する家庭とが繋がり、安心して子育てができる環境と地域づくりに寄与するものであると会員様には深く感謝申し上げます。

伊丹市が子育てしやすい自治体としてより成長していくためには、このファミリー・サポート事業の充実が不可欠であると考えておりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

令和6年度 講座の報告

必須講座 ～第2回～

24名の方に受講いただき、その内9名が全受講されましたので、修了証をお渡しいたしました。

令和6年 1/30 (木) 《保育の心》 育児支援者としての心構えと親子との関わり方について 講師：市立北保育所 副所長 平岡恵さん 保護者やこどもとの関係作りに大切なポイント（①保護者には話を聴いて気持ちに寄り添うこと②こどもにはこどもの視線の先を見て、こどもがしたい事や思っている事をわかつくこと）を学びました。 	令和6年 1/31 (金) 《こどもの世話》 こどもが快適に過ごすための必要なケアと環境づくりについて 講師：市母子保健課 保健師 秋山沙也香さん こどもの事故を防ぐには、周りの大人が一步先を見て安全対策する必要があることを学びました。乳幼児健診で10か月健診が医療機関委託から保健センターでの実施に変わったことも知りました。 
令和6年 1/31 (金) 《こどもの栄養と食生活》 こどもの栄養と食生活について 講師：市健康政策課 栄養士 池田典子さん 食中毒の種類や予防法、食物アレルギーについてやこどもが食べない理由（かみにくい・おなかがすいてない・飲み込みにくい）とその対策方法を学びました。元気の基本は体内時計を整えることと知りました。 	令和6年 2/1 (土) 《安全・事故》 乳幼児の緊急救命講習会 講師：イタミライフキーパー 応急手当普及員 宮崎涼二さん 吉川深志さん 2つのグループに分かれて実際に人形（乳児・幼児・大人）と最新のAEDを使い心肺蘇生法や窒息した時の対処法を実習しました。質問も飛び交い、みなさん熱心に取り組まれました。 
令和6年 2/2 (日) 《安全・事故》 事故対策講習会 講師：NPO 法人 C・キッズ・ネットワーク 酒井富美子さん 実際によく起こるこどもの事故を具体的に教えていただき対策法も学び、視野体験もしました。 最近、プチトマト以外にも球形のチーズなどで窒息してしまうことも知りました。 	令和6年 2/2 (日) 《子育て支援サービスを提供するために》 実際に活動を行うにあたって手順やルール、注意事項について 講師：育児ファミリー・サポート・センターアドバイザー 前半は、ファミサポの制度や安心安全に活動していただくための注意点やお顔合わせの大切さなどを伝えました。後半は、様々な事例でファミサポを利用できるか？できないか？を話し合ってもらったり、料金も実際に計算していただきました。 
令和6年 2/3 (月) 《心の発達とその問題》 こどもの障がいの種類や特徴について 講師：市こども発達支援センター 山本佳那さん 障がいの考え方や種類、制度について学び、伊丹市のこども発達支援センター（あすばる）が日々取り組んでいることやわかりやすくこどもに伝える方法を症例別に具体的に学びました。 	令和6年 2/3 (月) 《心の発達とその問題》 障がいのあるこどもとの関わり方について 講師：市こども発達支援センター 山本佳那さん 関わり方のポイント（①こどもができることを具体的にわかりやすく伝える ②マイナス言葉（例：廊下を走らないで。）をプラス言葉（例：廊下は歩こうね。）に変えて伝える）をみんなで話し合いました。 